

備えよう！  
災害に関わる  
全てから。



Koganei-City Disaster Survival Map  
小金井市防災地图  
고가네이시 방재 지도



災害から身を守るために

避難情報について

災害が発生し、または発生のおそれがある場合、市は「高齢者等避難」、「避難指示」、「緊急安全確保」を発令する場合があります。  
これらの違いを良く理解し、自らの身を守りましょう。  
また、危険を感じる場合は、自らの判断で早めに避難することも重要です。

市町村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報

< 避難情報等 >

| 避難情報等(警戒レベル)                 |              |                |          |
|------------------------------|--------------|----------------|----------|
| 警戒レベル                        | 状況           | 住民がとるべき行動      | 避難情報等    |
| 5                            | 災害発生又は切迫     | 命の危険 直ちに安全確保!  | 緊急安全確保   |
| ~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~ |              |                |          |
| 4                            | 災害のおそれ高い     | 危険な場所から全員避難    | 避難指示     |
| 3                            | 災害のおそれあり     | 危険な場所から高齢者等は避難 | 高齢者等避難   |
| 2                            | 気象状況悪化       | 自らの避難行動を確認     | 大雨・洪水注意報 |
| 1                            | 今後気象状況悪化のおそれ | 災害への心構えを高める    | 早期注意情報   |

< 防災気象情報 > (国土交通省、気象庁、都道府県が発表)

防災気象情報は、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

|                              |                       |
|------------------------------|-----------------------|
| 警戒レベル5相当情報                   | 氾濫発生情報<br>大雨特別警報 等    |
| ~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難!> ~~~~~ |                       |
| 警戒レベル4相当情報                   | 氾濫危険情報<br>土砂災害警戒情報 等  |
| 警戒レベル3相当情報                   | 氾濫警戒情報<br>大雨警報、洪水警報 等 |

屋外が危険なときや避難する時間がないときは、無理に遠くの避難場所へ行かず、身近な安全な場所へ避難しましょう。

例えば

水害のとき

自宅の2階に避難する。(垂直避難)

土砂災害のとき

近くの建物へ避難する。斜面に面していない部屋へ避難する。

家庭防災会議をしましょう

いざというときのために、定期的に家族で防災について話し合しましょう。

家族で話し合うこと

家族一人ひとりの役割分担を決める

- 日常の防災対策の役割と、災害発生時の役割を決めておく。
- 家族に高齢者や障がい者、乳幼児などがある場合には、面倒を見る人を決める。

避難場所、避難経路を確認する

- 地域の避難場所を確認する。家族が離ればなれになったときの集合場所も決めておく。
- 休日などを利用し、家族で避難経路などの下見をしておく。

家族が離ればなれになったときの連絡方法を確認する

- 災害用伝言ダイヤル「171」などの使い方を確認する。
- 遠方に住む親せきや知人をお願いして連絡をとる方法もある。

危険箇所をチェックする

- 家の内外に危険なところがないかチェックする。
- 危ない場所があったら、修理や補強をする。

非常持出品をチェックする

- 必要なものが揃っているかチェックする。
- 機器の作動状態や食べ物の賞味・消費期限のチェックも忘れずに。

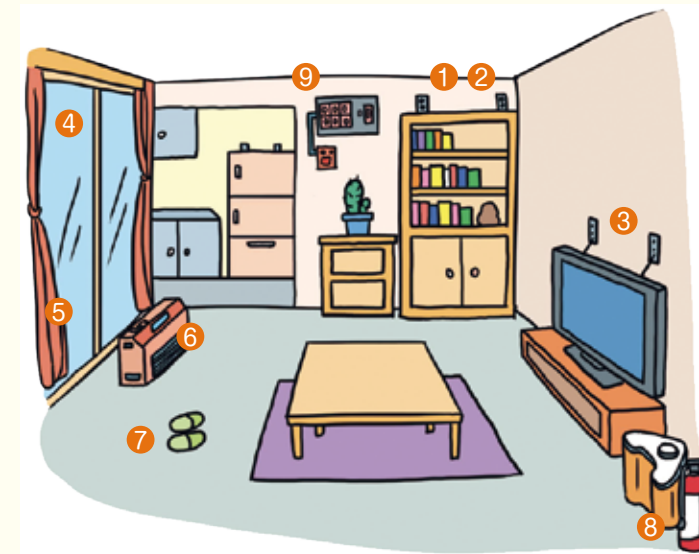
防災用具をチェックする

- 消火器や救急箱の置き場所や製造年月日、有効期間などを確認する。
- 消火器の使い方を覚えておく。

地震から身を守るために

わが家の地震対策

屋内の備え



- 1 家具の上に重いものや危険なものを置かない。
- 2 家具はL型金具やツッパリ棒で固定する。
- 3 テレビやパソコン等もOA用固定器具で固定する。
- 4 窓などの板ガラスに、飛散防止フィルムを貼る。
- 5 カーテンは防災処理を施したものにします。
- 6 ストープは耐震自動消火装置付きにする。
- 7 破片によるけが防止のため、スリッパなどを用意する。
- 8 消火器や三角バケツを用意する。
- 9 分電盤やコンセントに感震ブレーカーを設置する。

感震ブレーカーとは

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。  
感震ブレーカーを設置して、電気火災から「家」「地域」を守りましょう。



〔感震ブレーカーの種類〕